



学校のめあて

心豊かで
たくましく
いつも進んで学ぶ子

TEL 25-4450 [http:// www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/](http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/)

学校評価アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき有難うございます。2学期末に、ご協力をいただいた「第2回学校評価アンケート」の集計・分析や今後の取組等がまとまりましたのでご報告いたします。

【 児童（2～6年生）アンケートの結果 】

令和7年度 12月 児童アンケート 集計結果		(%)			
No.	質問項目	第2回 12月	第1回 7月	第1回 と比較	昨年度 12月
1	授業の中で、むずかしいと思ったことも、あきらめないで取り組んでいますか。	93	91	—	90
2	授業の中で、ほかの人の考えを参考にしたり、自分の考えを振り返ったりしていますか。	87	88	—	88
新	授業が楽しいと感じ、学習している内容が分りますか。	95	95	—	—
3	宿題を忘れずに取り組んでいますか。	96	95	—	95
4	授業の中で、もっとやってみようと思ったことを家で調べたり、分からなかったことを復習したりしていますか。	59	67	▼8	63
5	英語の授業では、進んでコミュニケーションをとっていますか。	88	91	—	87
6	英語の学習は、分かりますか。	89	92	—	90
7	学校や家で、読書をしていますか。	63	72	▼9	60
8	友だちや先生、家の人や近所の人などに進んであいさつをしていますか。	89	96	▼7	92
9	相手の気持ちや立場を考えた親切な言い方や行動をすることが出来ますか。	94	95	—	94
10	友だちからいじめられたり、いやなことをされたりしたことは、解決していますか。	92	87	△5	90
11	「学校生活のやくそく」を守って生活していますか。	98	100	—	97
12	学校や学年で行われる行事や活動のとき、進んで行動したり、思いやりをもって行動したりしていますか。	96	98	—	97
13	そうじにいっしょうけんめいに取り組んでいますか。	97	98	—	97
14	将来の夢やなりたい職業などについて、考えることがありますか。	79	78		82
15	毎日、朝食をとっていますか。	94	94	—	95
16	十分にすい眼をとっていますか。	91	89	—	90
17	学校や家で体を動かして遊んだり、運動したりしていますか。	88	87	—	86
18	先生の話やひなん訓練で、火事や地震、不しん者が入ってきたときのひなんの仕方や注意することが、分かっていますか。	100	100	—	98
19	道路を歩いたり、自転車に乗ったりしているとき、交通ルールを守っていますか。	99	100	—	99
20	学校の行き帰りに、危険な思いをしたり、困ったりしたときに、どう行動すればよいか分かっていますか。	97	98	—	98
21	学校からの「たより」や連絡帳を、かならず家の人に見せていますか。	82	83	—	86
22	地いきの方々や、お母さん・お父さんたちが授業のお手伝い(ボランティア活動)に来てくれていることを知っていますか。	82	86	▼4	80

※ 数字は、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせ、割合を百分率で表したものです。「第1回と比較」は、今年度7月の数値と比較して4%以上変化した項目の上昇は「△」、下降は「▼」で示しています。(数字は変化した%)

○ 良好と考えられる項目

- 11 『学校生活のやくそく』を守る」
- 18 「避難の仕方や注意することが分かる」
- 19 「交通ルールを守る」 など
- 課題があると考えられる項目
- 04 「授業の中で、もっとやってみようことや分からないことを家で調べたり… (59%)」
- 07 「学校や家で読書 (63%)」
- 昨年度(同時期)との比較で増減の大きかった項目
- 04 「家で調べたり復習したり…」 ▼8
- 07 「学校や家で読書」 ▼9
- 10 「いじめやいやなことは解決」 △5 など

【まとめ】児童アンケートは、第1回とほぼ同様の結果でした。良好と考えられる項目は、前回より1つ減って8項目でした。今年度から新しく設けた項目「授業が楽しい。内容が分かる。」は、前回と同じ95%でした。学校生活の主となる授業について、今回は児童の満足度は高いと捉えています。

課題があると考えられる項目は3項目で、「授業で、もっとやってみようことを家で…」と「学校や家で読書」は、この数年続いています。家庭学習については、「スマイルネクスト」を活用したり、授業の内容を個人

で深めたり広げたりする自主学習を推奨しています。今後も継続しながら、さらに活動を広げられるようにしていきます。読書については、ボランティアによる読み聞かせ活動を継続し、きっかけづくりをしていきます。各学年で授業と関連させながら読書に対する意欲を高める取組を今後も工夫していきます。

【 保護者アンケートの結果 】

令和7年度 12月 保護者アンケート 集計結果		(%)			
No.	質問項目	第2回 12月	第1回 7月	第1回 と比較	昨年度 12月
1	お子さんは、宿題を忘れずに取り組んでいる。	94	97	—	92
2	お子さんは、英語の学習に楽しんで取り組んでいる。	86	90	▼4	84
3	お子さんは、家庭で読書をしている。	46	49	—	43
4	お子さんは、家庭や地域で挨拶をすることができる。	81	90	▼9	87
5	お子さんは、相手の立場や気持ちを考えた行動がとれる。	92	94	—	91
6	学校は、いじめが起きないように指導したり、起きたときには解消に向けて積極的に努力したりしている。	94	92	—	87
7	学校・学年で行われる様々な行事や体験活動、奉仕活動を通して、子どもたちに自立心や思いやりの気持ちが育っている。	95	96	—	94
8	お子さんの将来の夢や就きたい仕事などの話題について、親子で会話をするようにしている。	77	81	▼4	81
9	お子さんは、毎朝食事をとっている。	96	98	—	97
10	お子さんは、十分に睡眠をとっている。	93	95	—	92
11	学校は、防犯訓練や避難訓練などを実施して、子どもの安全を確保することに努めている。	98	99	—	97
12	あなたは、通学路の危険箇所などについて、お子さんと話し合ったり、確認し合ったりして、緊急時の対応がとれるようにしている。	92	88	△4	85
13	学校は、教職員の一人一人が自覚と責任をもって、子どもたちの教育活動に取り組んでいる。	97	95	—	90
14	学校からの各種「たより」や連絡帳により、学校の活動や子どもたちの成長の様子が分かる。	91	87	△4	88
15	あなたは、授業参観やPTA行事などに積極的に参加している。	100	92	△8	87
16	学校は、お子さんのことで相談したいときに、気軽に話し合える雰囲気がある。	95	90	△5	89
17	学校は、学校支援ボランティアを活用するなど、保護者や地域の方々々と連携して教育活動を進めている。	93	93	—	93

※ 数字は、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせ、割合を百分率で表したものです。「第1回と比較」は、今年度7月の数値と比較して4%以上変化した項目の上昇は「△」、下降は「▼」で示しています。(数字は変化した%)

○ 良好と考えられる項目

11「訓練などの学校の安全確保」

13「教職員の自覚と責任」

15「学校行事等への参加」 など

○ 課題があると考えられる項目

03「我が子の家庭での読書 (46%)」

○ 昨年度(同時期)との比較で増減の大きかった項目

04「家庭や地域で挨拶」▼9

15「学校行事等への参加」△8

16「相談したいときに、気軽に…」△5 など

[まとめ] 保護者アンケートでは、学校の取組に概ねよい評価をいただきました。良好と

考えられる項目が3項目から5項目になりました。第1回との比較でも、No.16が前回に

続き5%の上昇になりました。今後も、保護者

の方と相談できる雰囲気づくりに努めてまい

ります。また、課題があると考えられる項目の

「家庭で読書」については、前述のようにボ

ランティアや授業等の活動を工夫していきま

す。

◇ 保護者の文章記述(その他)について

全ては紹介しきれませんが、たくさんのご

意見ありがとうございました。現在の取組の

課題や気づけなかった具体的な改善策を記述

いただきました。今後の活動に生かしてい

きます。幾つかを次に紹介します。

○ 持久走記録会は、今年度より安全面や体育の学習面(文部科学省)等を総合的に判断して実施することになりました。目的は「子どもが自己の体力を知り、体力の増進を図る」「自分の走るペースを守って無理なく走りきる」「体を動かすことの楽しさを感じさせる」になります。「安心感が増して大きなメリットだと感じます。」や「子どもが、自分の目標の更新のため前向きに走れて、マラソン大会のようにつらい思いをせずに過ごせました。」等のご意見をいただきました。ただ「子どもたちのモチベーションが上がらない感じがする」「結果が分りにくい」等のご意見もいただきました。子どもたちがさらに意欲的に取り組めるよう改善していきます。

○ お子さんの足型が現在の体育館シューズの形状にどうしても合わないため問い合わせをいただきました。現在の体育シューズは、上靴タイプですと滑って運動に適さないことから変更したものです。特別な事情がある場合は、より良い方法を個別に相談させていただきますので、遠慮なく相談ください。

○ 寒い時には、夏用の体育着(半袖・短パン)の下に長袖を着たり、タイツを履いたりすることはできないかと問い合わせがありました。寒い場合は冬用の体育着を着用していただければと思います。また、防寒用のものを着用する際、汗をかくと冷えてしまい体調を崩すこともあります。冬用の体育着の中は、動きやすさと防寒の視点からご判断ください。